

ココタウンデイサービスセンター

症例概要 利用者：90代 女性 要介護3

利用期間：2022年11月～2024年9月

経過：活動的な生活をされていたが、2021年10月突然の眩暈から救急搬送され左小脳半球の出血で入院となる。リハビリを経て2022年1月に退院するも以前より楽しまれていた、身体を動かす事や一人での安全な歩行が難しくなり日常生活での楽しみが減ってしまう。ご家族、ご本人共に以前のように活発な他者交流や入浴、好きな身体を動かす活動に参加することをニーズとし利用開始となる。ご本人の気持ちに寄り添いながら、全身機能強化やレクリエーションの中で自信が持てるよう声掛けを行い心身ともに改善された症例

内 容

以前は、お祭りなどの地域活動やご主人がダンスの先生ということもあり身体を動かす事が大好きで、地域の方々との交流も含め活発的に過ごされておりました。2021年10月に左小脳半球出血による入院をきっかけに安全な歩行が難しくなり、日常生活上でも支援が必要となり、今まで楽しみにされていた地域との交流が難しく、楽しみが持てなくなったことから精神的にも落ち込まれ笑顔が少なくなっていました。そこでご家族で相談し以前のように身体を動かす事ができるようデイサービスを利用することとなりました。

初めはデイサービスに来てほとんど横になっていることが多く他の方ともあまり話す事もみられません。そこで職員で相談し、納涼祭で盆踊りを踊ることを目標にすることを提案すると、笑顔で了解して頂くことができました。

元々、身体を動かす事が好きな方であったため、下肢筋力強化のお散歩やサイクルバイクでの運動に対し積極的に実施され、何より目標があることがご本人にとって良いきっかけになった様子でした。

納涼祭当日、一部身体を支えながらではありますが他利用者さんや職員含め一緒に盆踊りが踊れることにとっても喜ばれ、今まで見たことのない笑顔で「また来年も夏祭りで踊りたいから頑張るからね」とお言葉を頂きご本人の生きがいになっていることがわかりました。

今後ご本人の希望に寄り添い、職員とご本人の目標を共有できるデイサービスとして取り組んでいきます。